

平成31年県の施策に関する県民意識調査結果(概要)

■調査の概要■

1 調査の目的

「いわて県民計画」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- ① 調査対象 県内に居住する18歳以上の男女
- ② 調査対象者数 5,000人
- ③ 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- ④ 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- ⑤ 調査時期 平成31年1～2月
- ⑥ 調査項目
 - ア 生活全般の満足度
 - イ 「いわて県民計画」の7つの政策に関連する50項目に係る重要度、満足度について
 - ウ 県民の普段の行動について
 - エ 幸福度について
- ⑦ 有効回収率 66.5% (3,327人/5,000人)
- ⑧ 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	1,611	(48.4)
女性	1,693	(50.9)
不明	23	(0.7)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	938	(28.2)
県南広域振興圏	1,014	(30.5)
沿岸広域振興圏	800	(24.0)
県北広域振興圏	575	(17.3)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	38	(1.1)
20～29歳	166	(5.0)
30～39歳	293	(8.8)
40～49歳	429	(12.9)
50～59歳	553	(16.6)
60～69歳	752	(22.6)
70歳以上	986	(29.6)
不明	110	(3.3)

【職業別別】	回答者数	割合
自営業主	309	(9.3)
家族従業者	95	(2.9)
会社役員・団体役員	207	(6.2)
常用雇用者	885	(26.6)
臨時雇用者	390	(11.7)
学生	48	(1.4)
専業主婦(主夫)	340	(10.2)
無職	780	(23.4)
その他	123	(3.7)
不明	150	(4.5)

()内は%

3 用語の解説

重要度(平均)：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均)：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度： 重要度(平均)－満足度(平均)

4 その他

本調査結果は、下記の調査統計課ホームページからダウンロードできます。

<http://www2.pref.iwate.jp/stat>



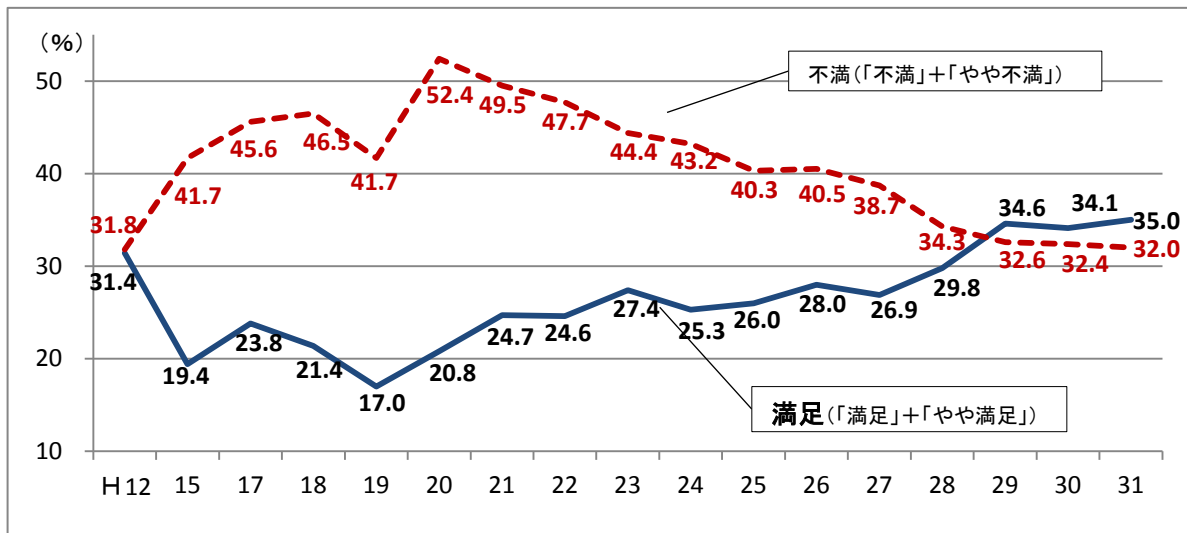
■ 調査結果の概要 ■

問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

満足率が過去最高、不満は低下傾向

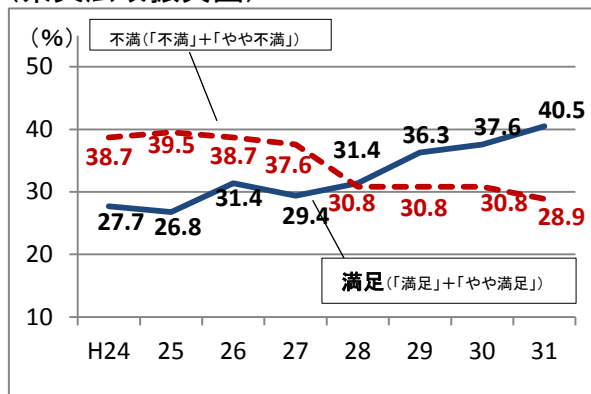
- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が35.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合32.0%を3.0ポイント上回っている。
- また、平成30年調査と比較すると、満足率は34.1%から0.9ポイント上昇し、不満率は32.4%から0.4ポイント低下している。
- 広域振興圏別に見ると、県央と沿岸では満足率が上昇している。県北でも満足率が上昇しているものの、不満率が上回っている。一方、県南では満足率が低下し不満率が上昇している。

(県計)

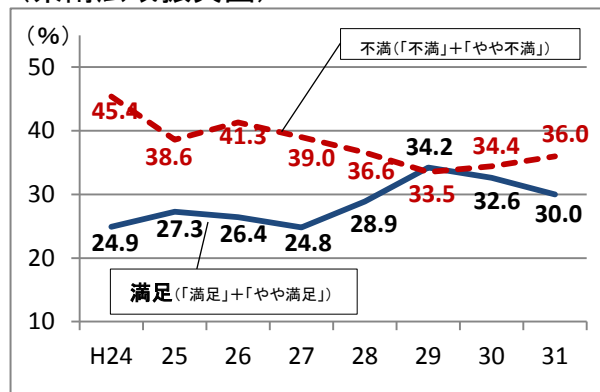


注)平成29年調査から、抽出に使用する選挙人名簿登録年齢に合わせ、調査対象年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げた。

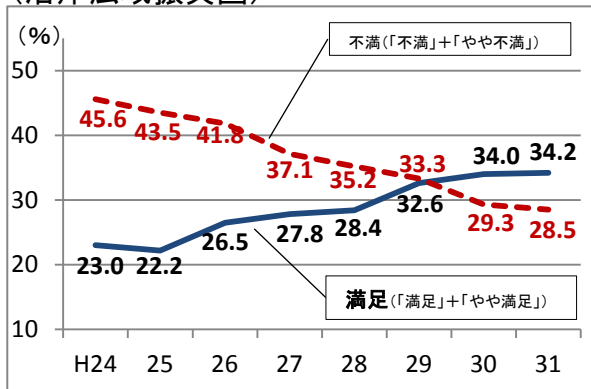
(県央広域振興圏)



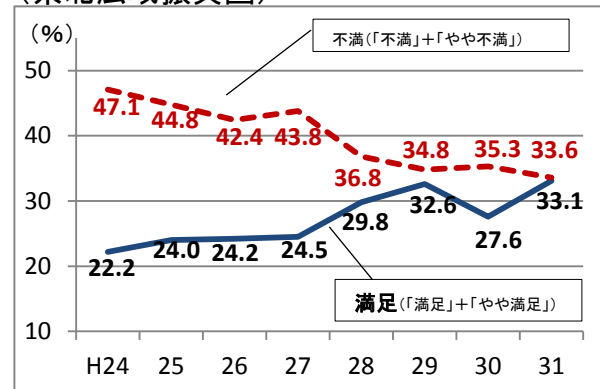
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



問2 あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「適切な医療体制」、「高齢者や障がい者に安心な地域づくり」、「交通事故の少ない社会づくり」となっている。
- 一方、「海外での県産品の販路拡大」、「外国人も暮らしやすい地域社会」、「市民活動へ参加しやすい社会」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
1	1	③	14	適切な医療体制
2	2	③	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	3	④	20	交通事故の少ない社会づくり
4	6	③	16	安心な子育て環境整備
5	4	④	19	犯罪への不安の少ない社会づくり

重要度が低い項目

順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
46	46	①	7	海外での県産品の販路拡大
45	45	⑤	36	外国人も暮らしやすい地域社会
44	42	④	24	市民活動へ参加しやすい社会
43	44	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
42	43	②	12	活力ある農山漁村の形成

※項目は設問文を要約して記載。いわて県民計画(2019～2028)での追加項目(4項目)は順位付けから除外。(以下、同様)

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「県出身スポーツ選手の活躍」、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「購入する食品の安全性に不安を感じない社会」となっている。
- 一方、「農林水産業の担い手確保」、「商店街のにぎわい」、「安定した就職環境」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
1	2	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍
2	1	⑥	39	ごみ減量やリサイクルの定着
3	4	④	22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
4	3	④	19	犯罪への不安の少ない社会づくり
5	6	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動

満足度が低い項目

順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
46	45	②	9	農林水産業の担い手確保
45	46	①	5	商店街のにぎわい
44	44	①	8	安定した就職環境
43	43	①	2	次世代を担う産業人材育成
42	42	①	6	中小企業の経営力の向上

【ニーズ度】

- ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「高齢者や障がい者に安心な地域づくり」、「安心な子育て環境整備」となっている。
- 一方、「県出身スポーツ選手の活躍」、「地域や学校での文化芸術活動」、「市民活動へ参加しやすい社会」などの項目がニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
1	1	①	8	安定した就職環境
2	2	③	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	4	③	16	安心な子育て環境整備
4	3	②	9	農林水産業の担い手確保
5	6	③	14	適切な医療体制

ニーズ度が低い項目

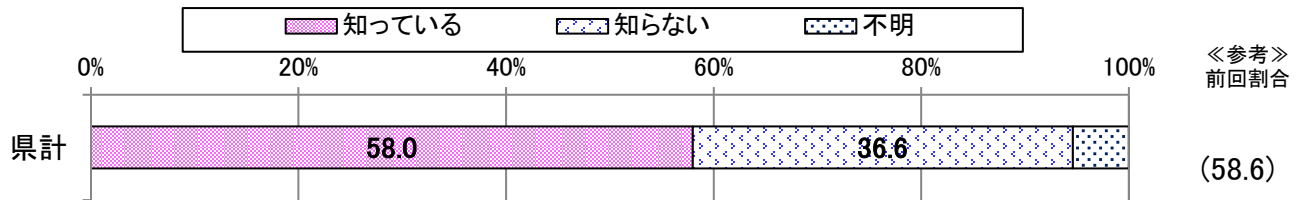
順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
46	46	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍
45	45	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
44	44	④	24	市民活動へ参加しやすい社会
43	43	⑤	36	外国人も暮らしやすい地域社会
42	41	⑤	34	郷土愛の向上に向けた取組

7つの政策

- ①:産業・雇用～「産業創造県いわて」の実現～
- ②:農林水産業～「食と緑の創造県いわて」の実現～
- ③:医療・子育て・福祉～「共に生きるいわて」の実現～
- ④:安全・安心～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～
- ⑤:教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～
- ⑥:環境～「環境王国いわて」の実現～
- ⑦:社会資本・公共交通・情報基盤～「いわてを支える基盤」の実現～

問3-1 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っていますか。

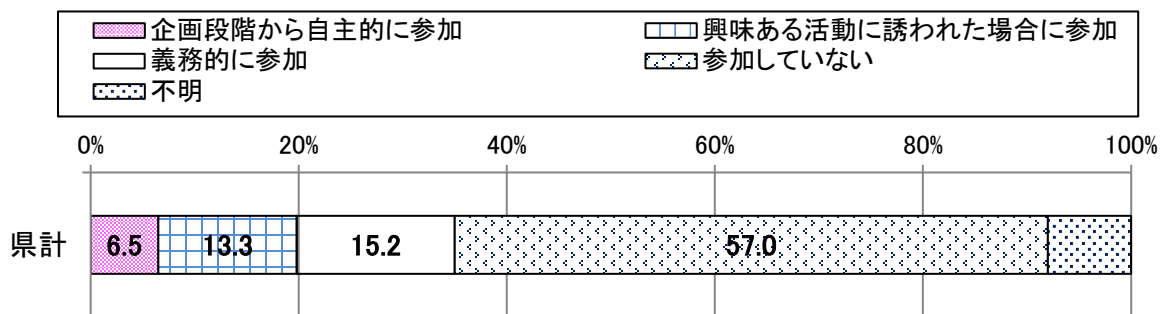
○ 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っている人の割合は58.0%となっている。



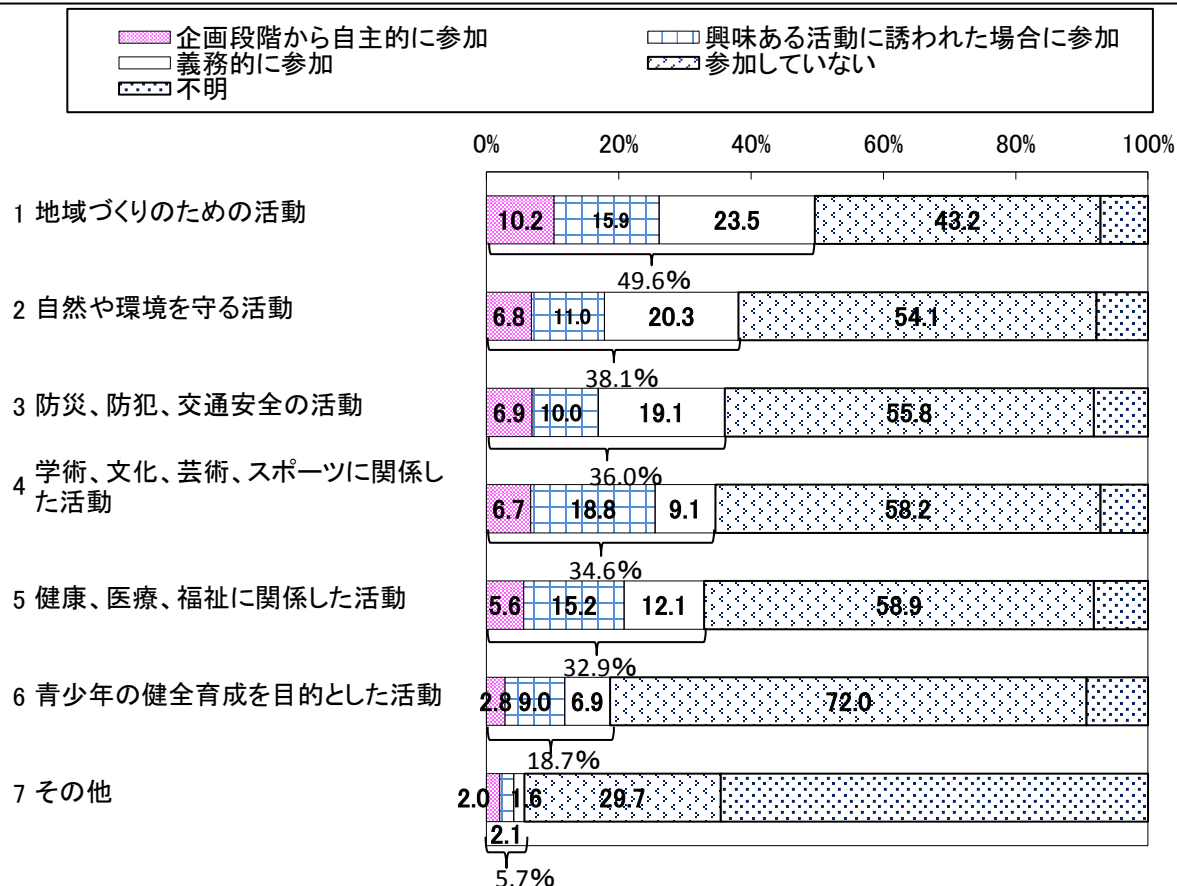
問3-2 過去1年間にどのようなボランティア活動等に参加しましたか。

【65歳以上からの回答】

○ ボランティア活動等に参加している高齢者の割合は、「企画段階から自主的に参加」が6.5%、「興味ある活動に誘われた場合に参加」が13.3%、「義務的に参加」が15.2%となっている。



○ ボランティア活動等は、「地域づくりのための活動」が49.6%と最も高く、次いで「自然や環境を守る活動」が38.1%、「防災、防犯、交通安全の活動」が36.0%となっている。(「企画段階から自主的に参加」、「興味ある活動に誘われた場合に参加」、「義務的に参加」の計。)



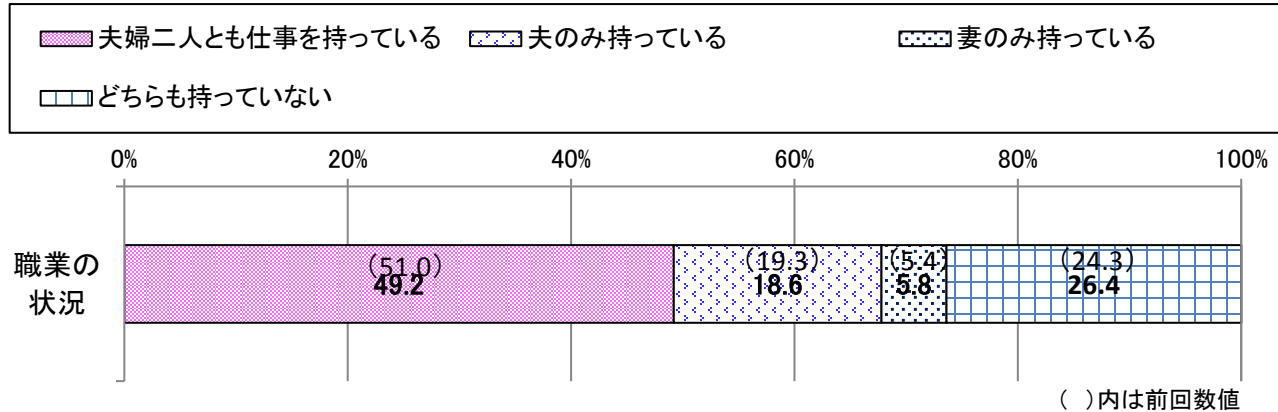
※ 今回新設の設問であるため、前回比較は無し。

問3-3 生活時間について

【(1)、(2)は夫婦世帯の方のみ回答】

(1) お二人とも職業をお持ちですか。

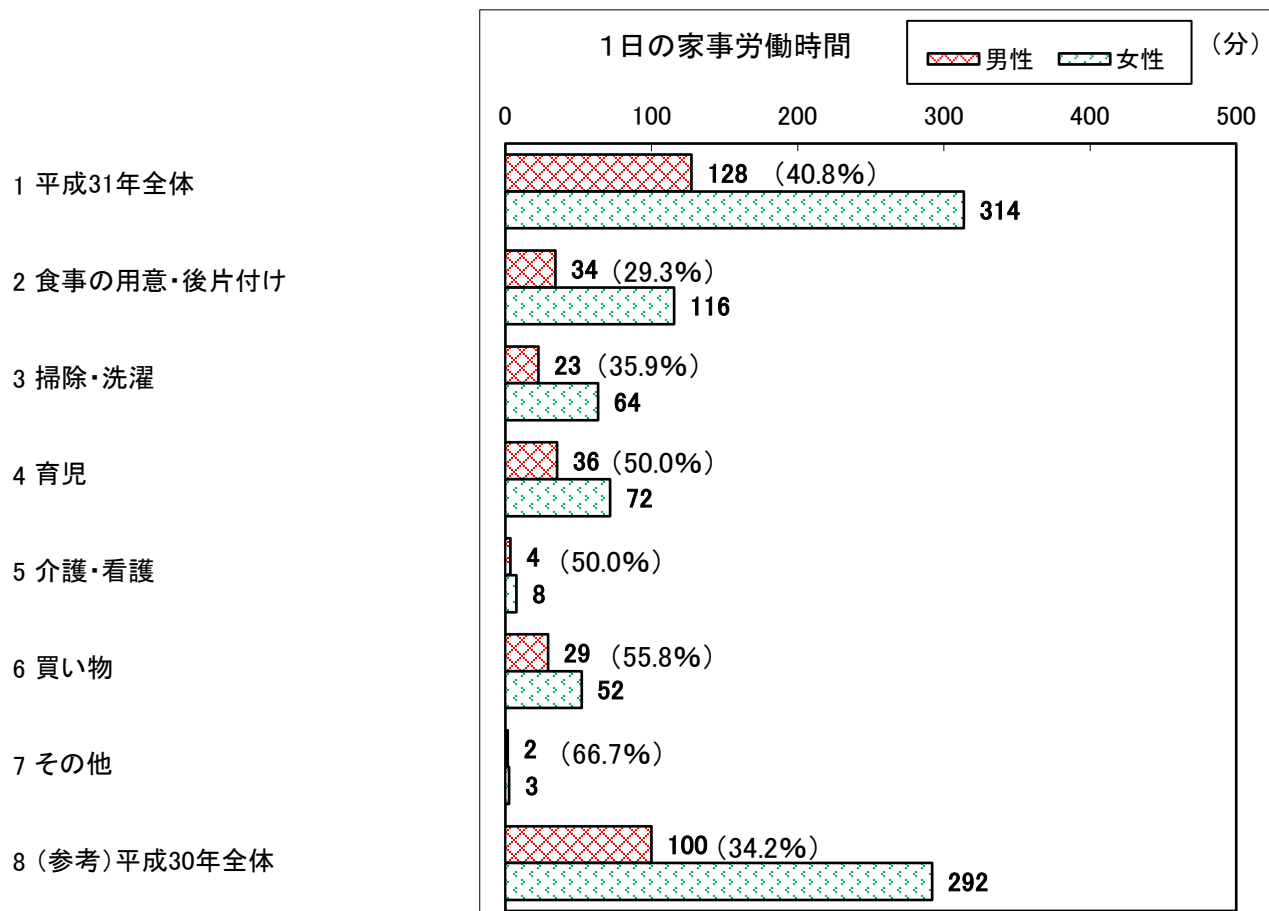
○ 夫婦二人とも仕事を持っている世帯の割合は49.2%となっている。



(2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれくらい家事を行っていますか。

【夫婦二人とも仕事を持っている世帯】

○ 共働き世帯の「夫」の家事労働時間は128分、「妻」の家事労働時間は314分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の40.8%となっている。



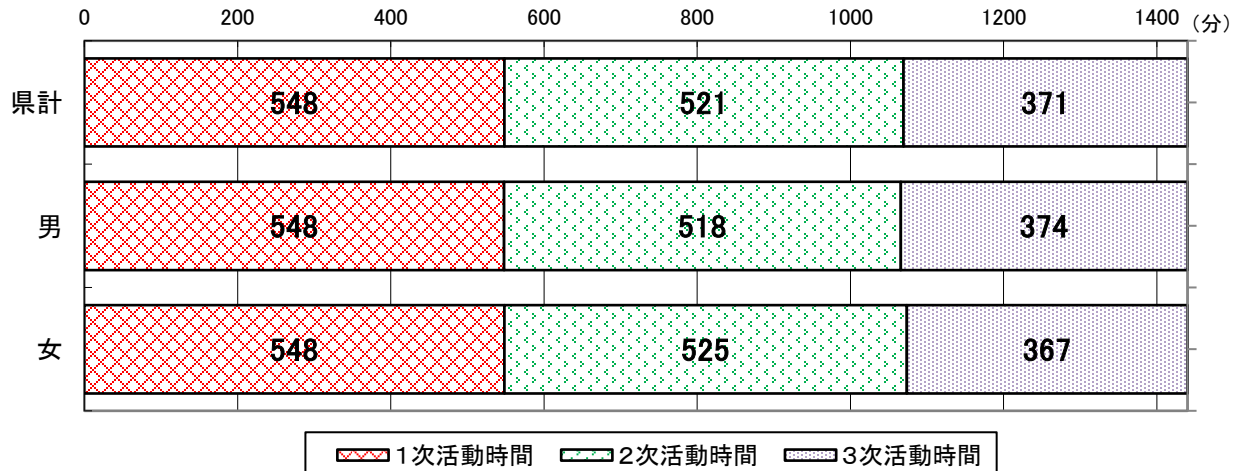
※ ()は、男性の家事時間割合(女性の家事時間に対する割合)。

(3) あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

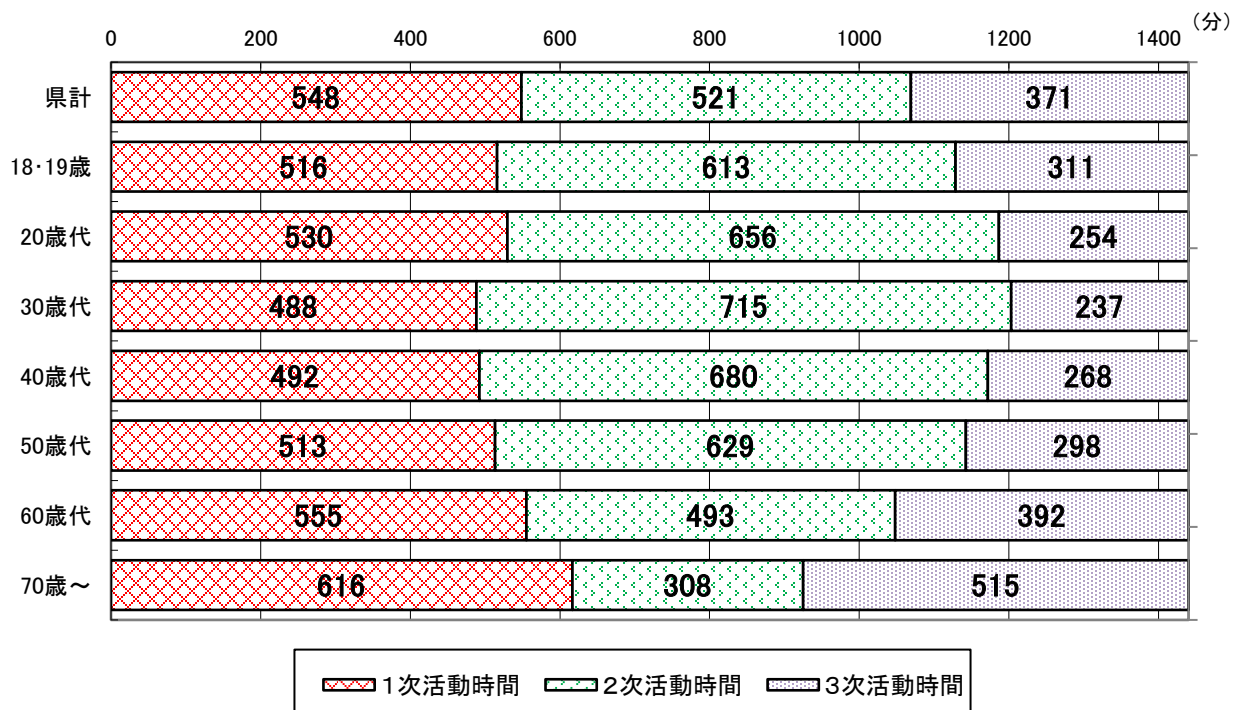
○ 1日当たりの行動の内容は、1次活動時間が548分(9時間8分)、2次活動時間が521分(8時間41分)、3次活動時間が371分(6時間11分)となっている。

- 1次活動: 睡眠、食事など生理的に必要な活動
- 2次活動: 仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- 3次活動: 1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

ア 男女別



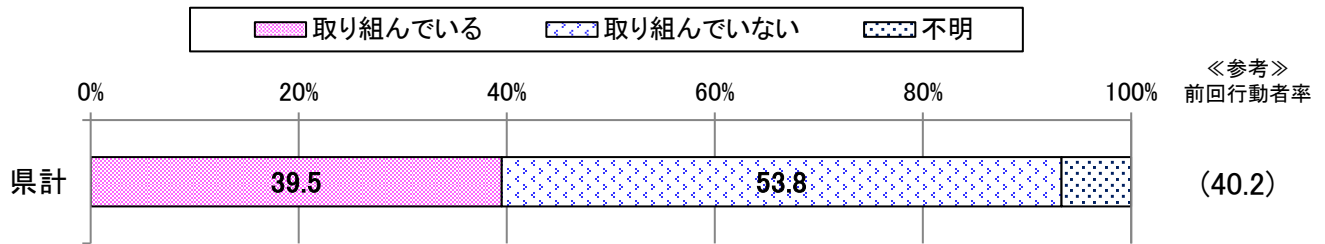
イ 年代別



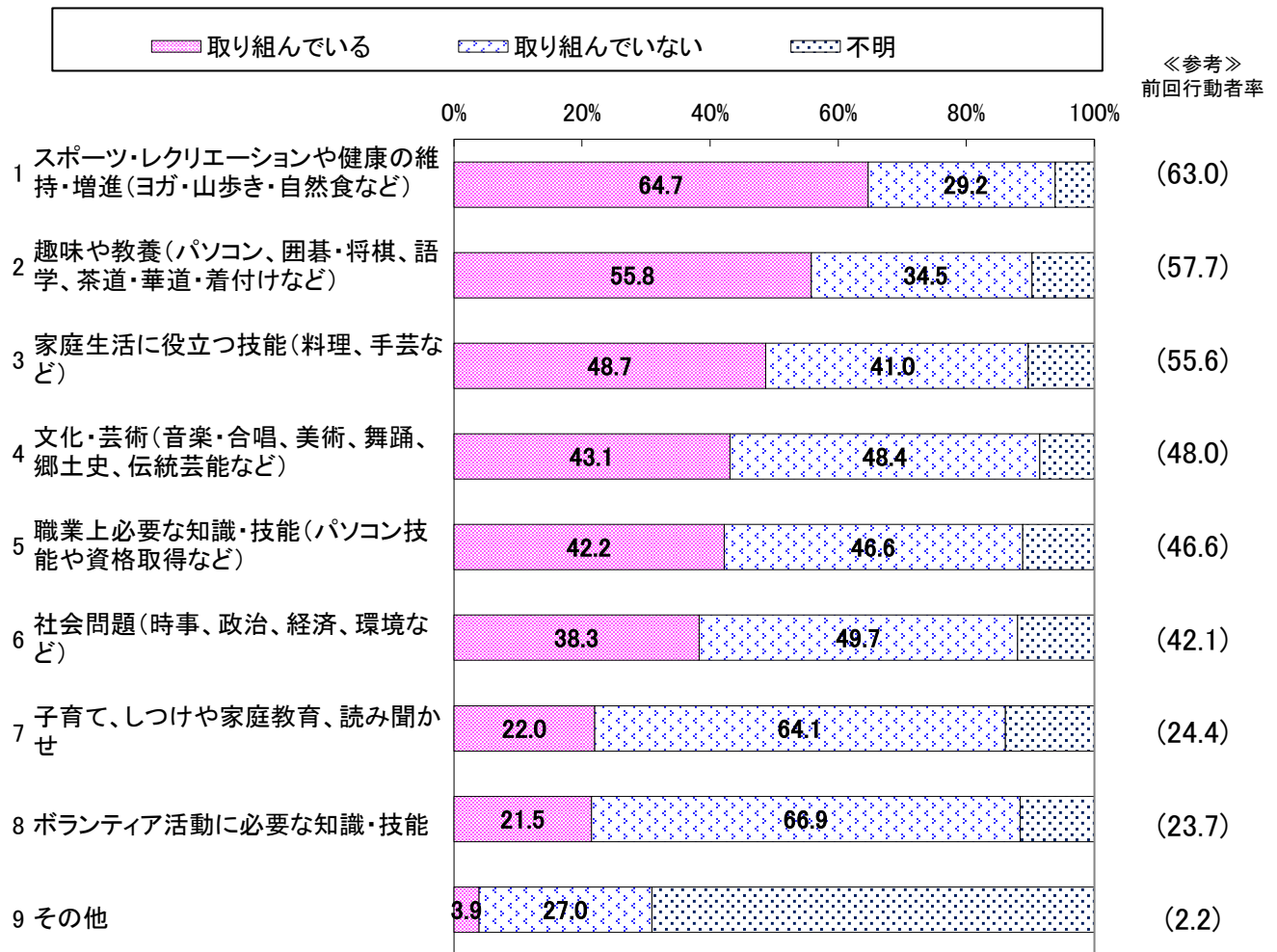
※ 今回新設の設問であるため、前回比較は無し。

問3-4 生涯学習に取り組んでいますか。

○ 生涯学習に取り組んでいる人の割合は、各調査項目の平均で39.5%となっている。

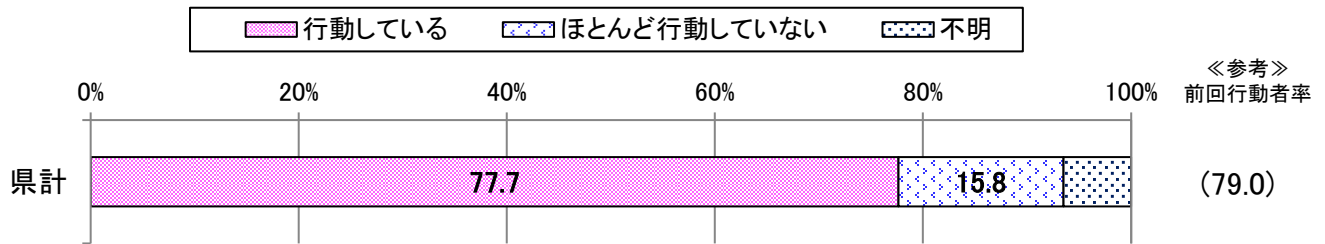


○ 行動の内容は、「スポーツ・レクリエーションや健康の維持・増進(ヨガ・山歩き・自然食など)」が64.7%と最も多く、次いで「趣味や教養(パソコン、囲碁・将棋、語学、茶道・華道・着付けなど)」が55.8%、「家庭生活に役立つ技能(料理、手芸など)」が48.7%となっている。

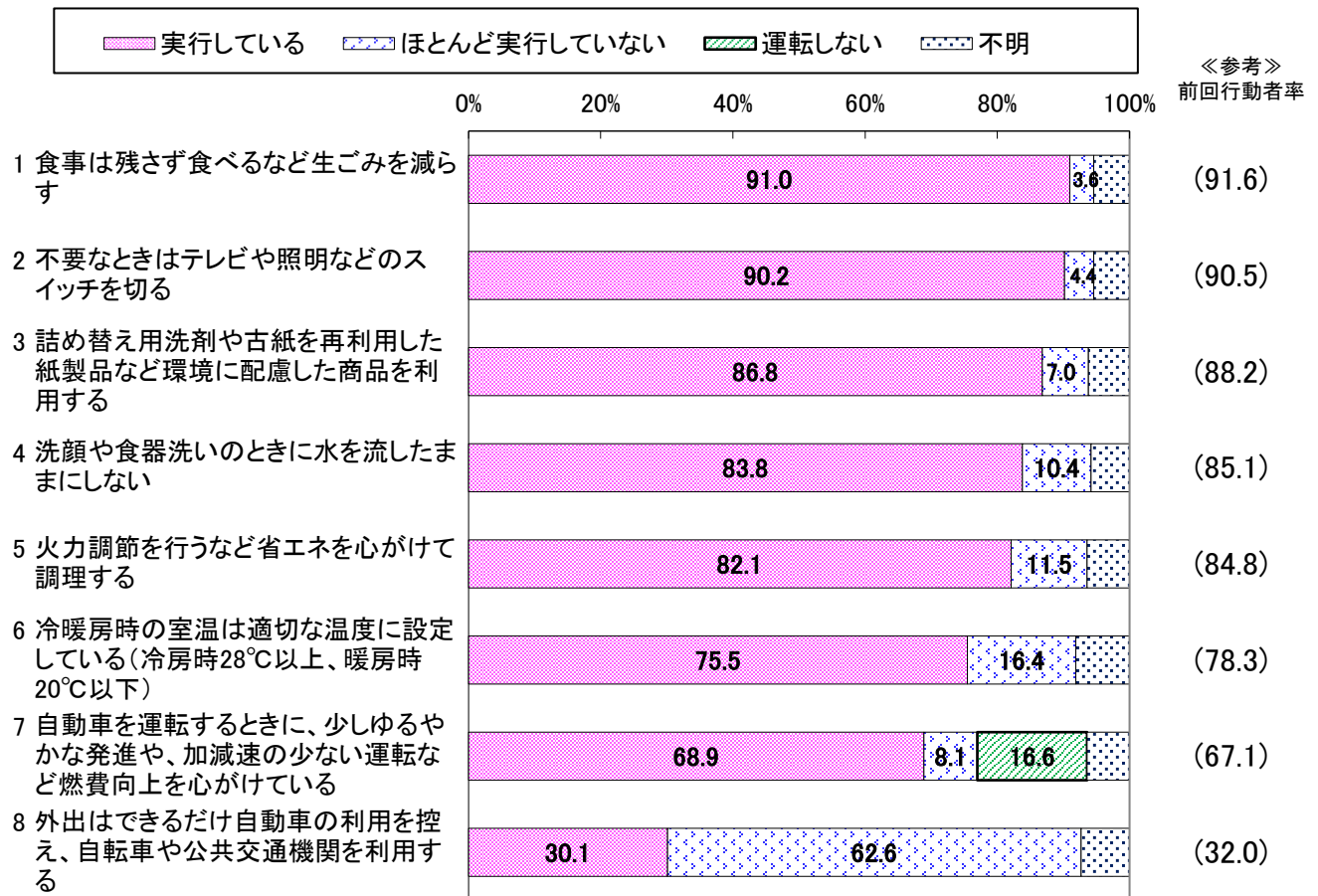


問3-5 地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。

○ 地球温暖化防止のための行動に努めている人の割合は、各調査項目の平均で77.7%となっている。

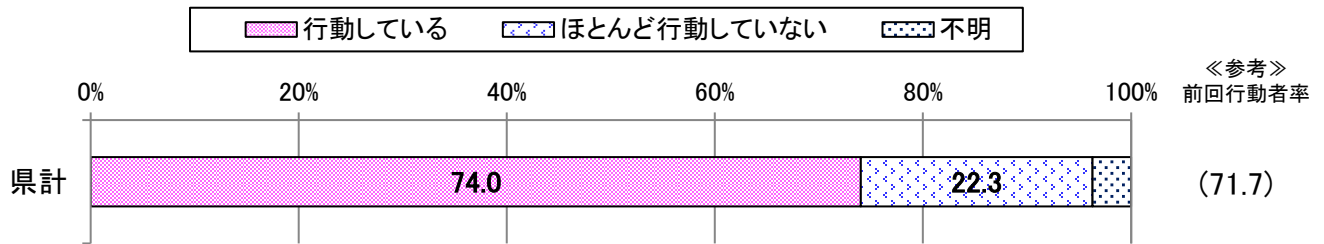


○ 行動の内容は、「食事は残さず食べるなど生ごみを減らす」が91.0%と最も多く、次いで「不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る」が90.2%、「詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する」が86.8%となっている。

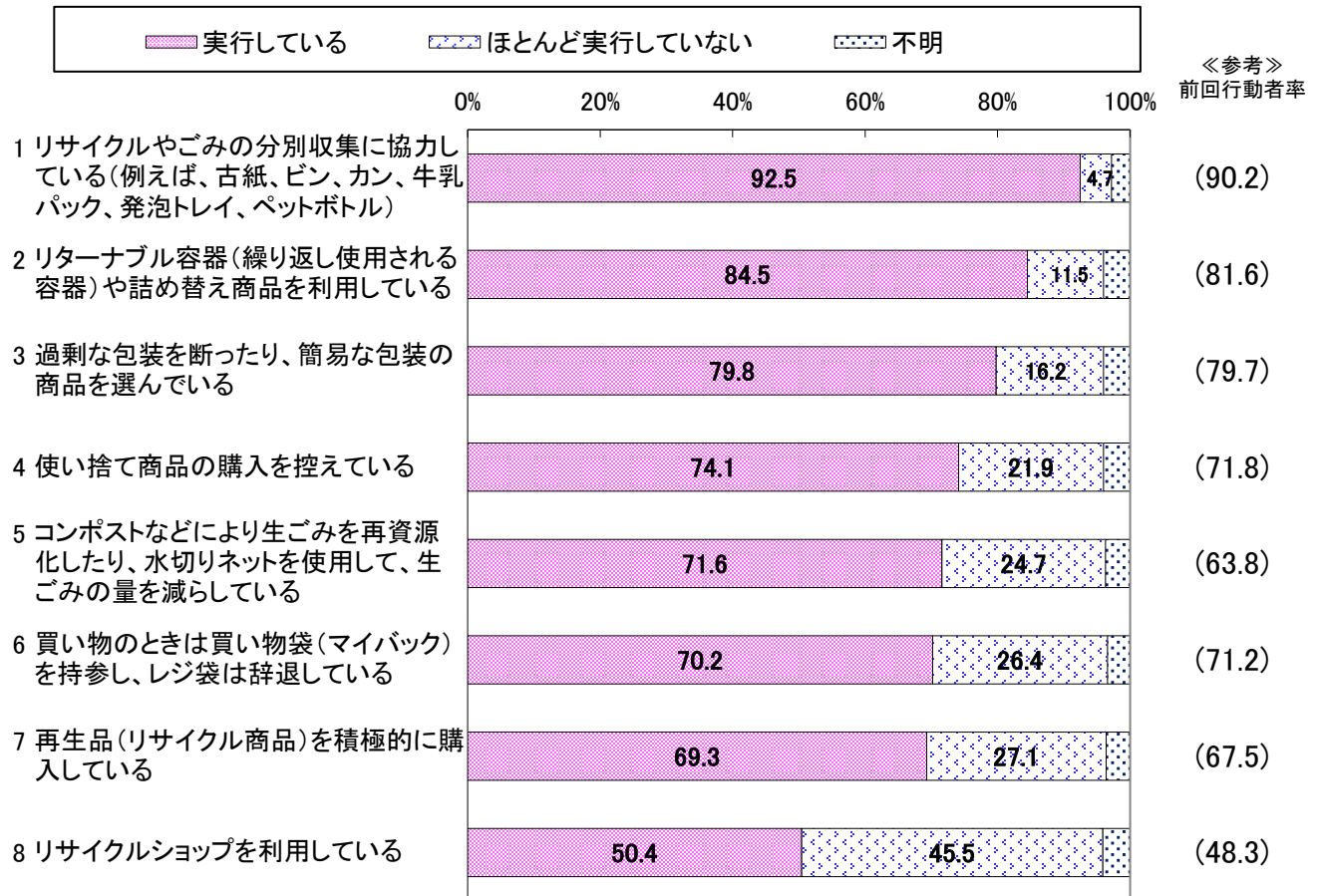


問3-6 ごみの減量化のため、普段どのような行動に努めていますか。

○ ごみの減量化などのための行動に努めている人の割合は、各調査項目の平均で74.0%となっている。



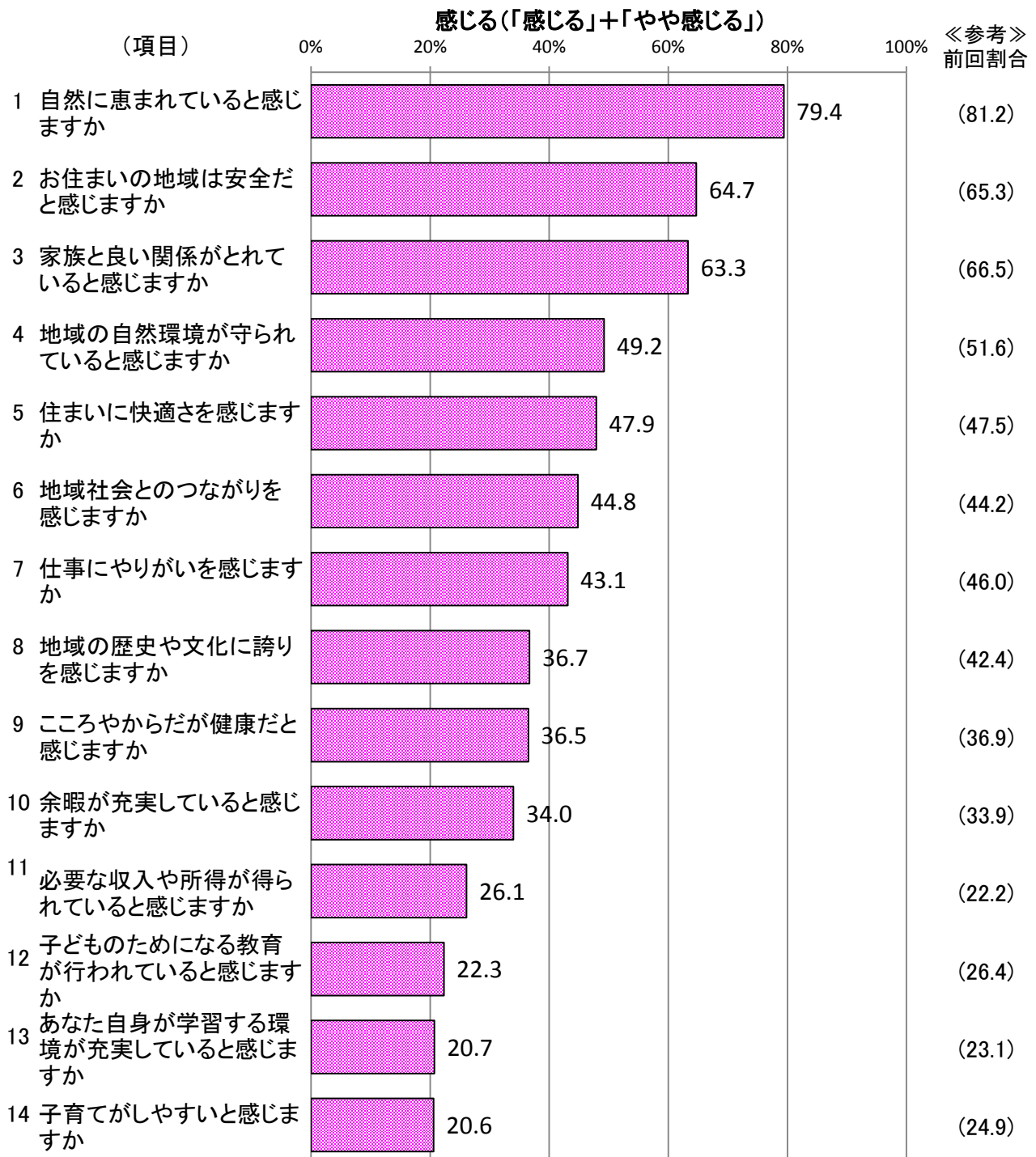
○ 行動の内容は、「リサイクルやごみの分別収集に協力している(例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル)」が92.5%と最も多く、次いで「リターナブル容器(繰り返し使用される容器)や詰め替え商品を利用している」が84.5%、「過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる」が79.8%となっている。



問4 県では、“私たちが実現していきたい岩手の未来”を創っていくため、「希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問4-1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

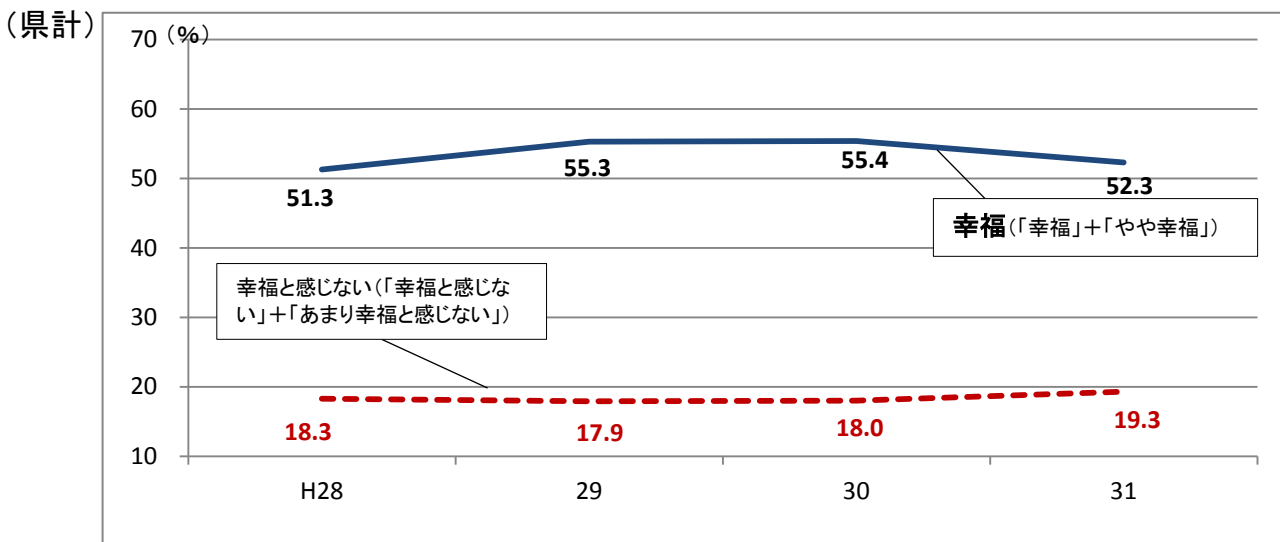
○「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の79.4%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の64.7%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の63.3%となっている。



問4-2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

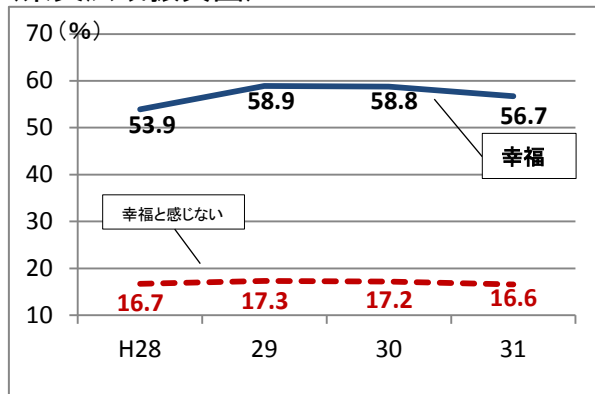
幸福が約52% (52.3%)、県央及び沿岸広域振興圏で50%以上

- 県計では、幸福の割合は52.3%となっており、前回と比較すると3.1ポイント低下している。
- 広域振興圏別に前回と比較すると、幸福の割合は県央では2.1ポイント、県南では5.6ポイント、沿岸では1.1ポイント、県北では0.1ポイント低下し、県央及び沿岸で幸福が50%を上回っている。

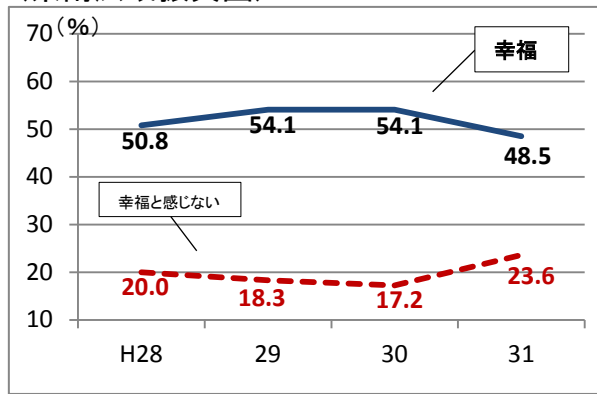


注)平成29年調査から、抽出に使用する選挙人名簿登録年齢に合わせ、調査対象年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げた。

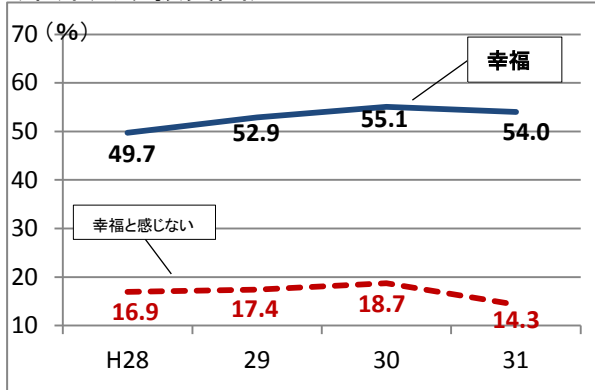
(県央広域振興圏)



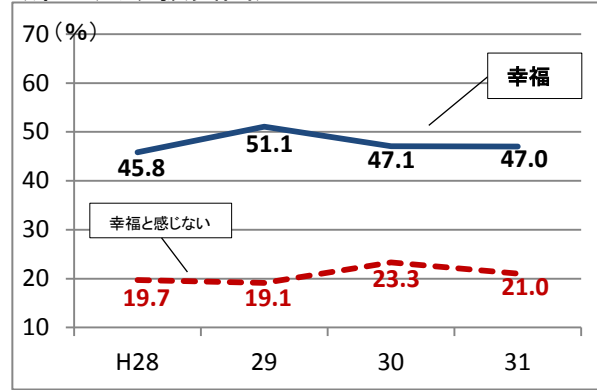
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)

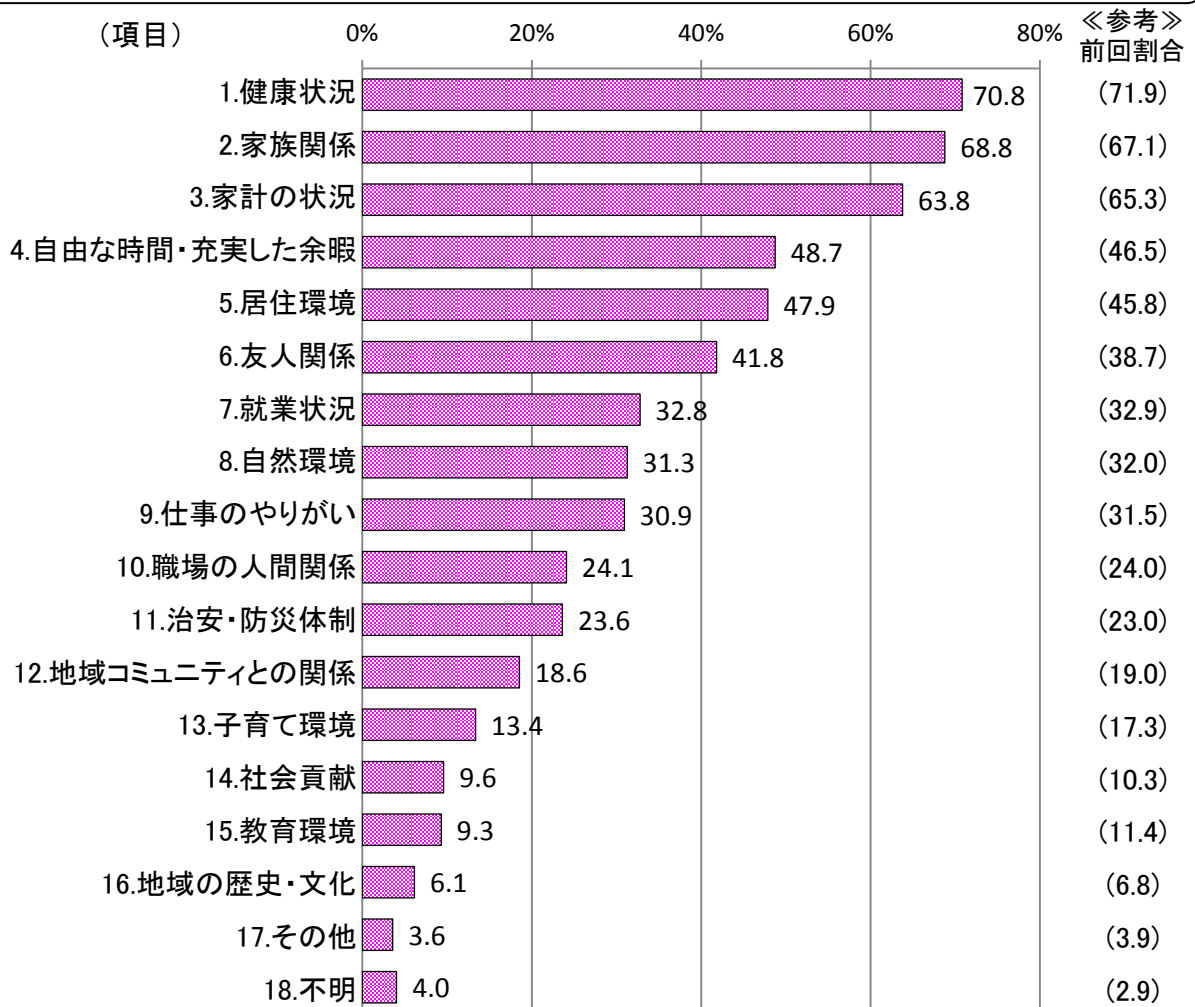


(県北広域振興圏)



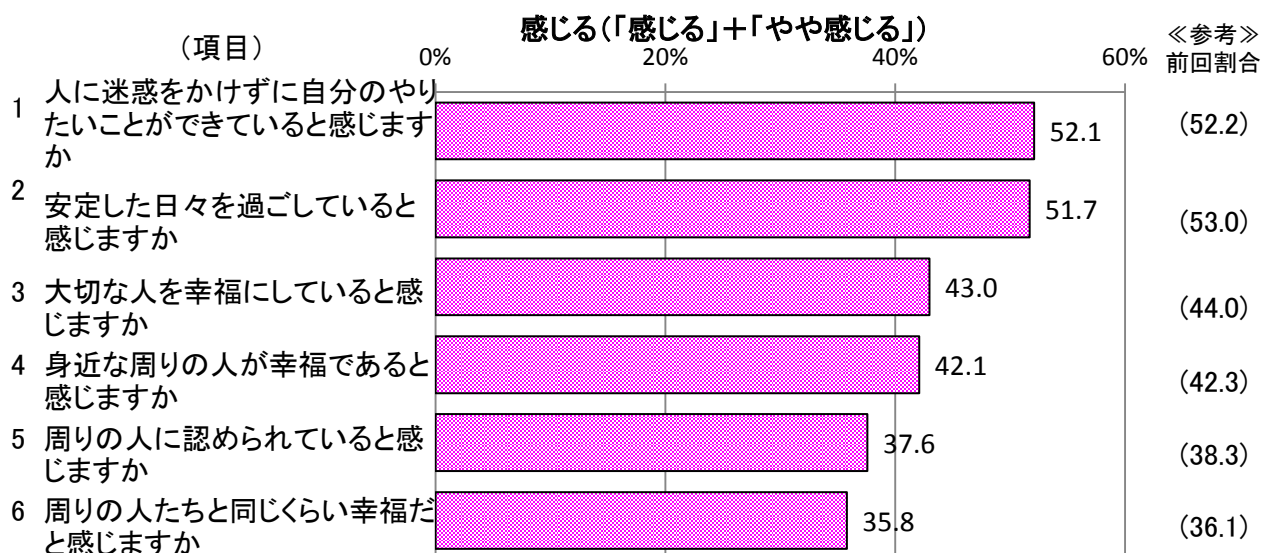
問4-3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○ 幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の70.8%、「家族関係」の68.8%となっている。



問4-4 身近な周りの人の幸福等について、あなたの実感をおたずねします。

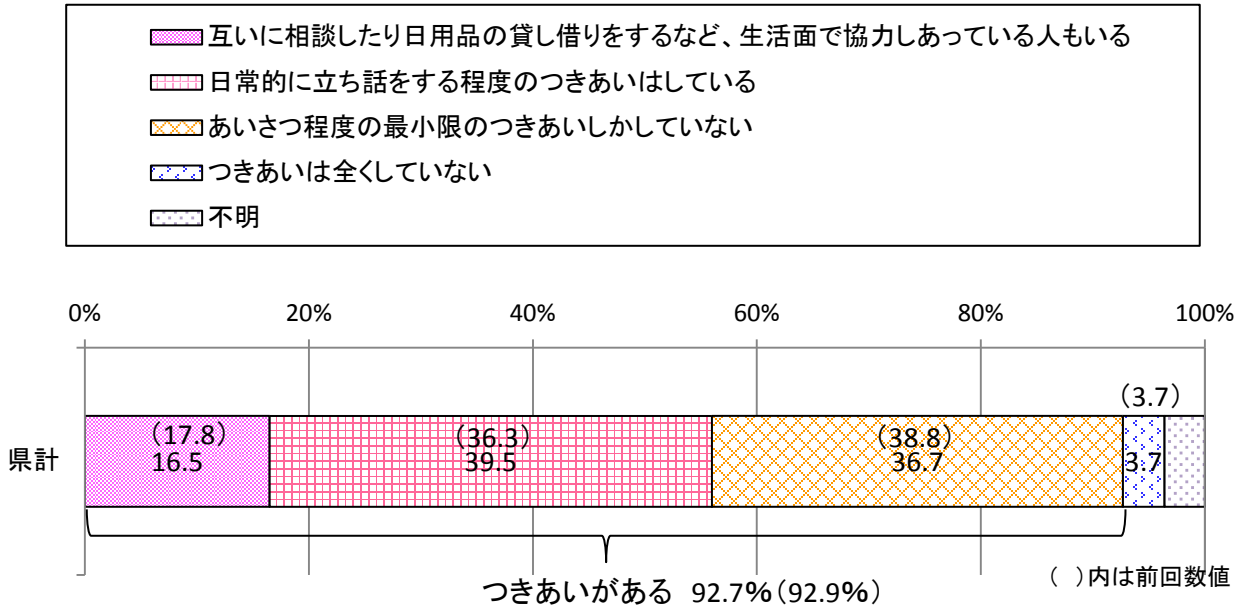
○ 「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか」の52.1%、「安定した日々を過ごしていると感じますか」の51.7%となっている。



問5 県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方等について伺います。

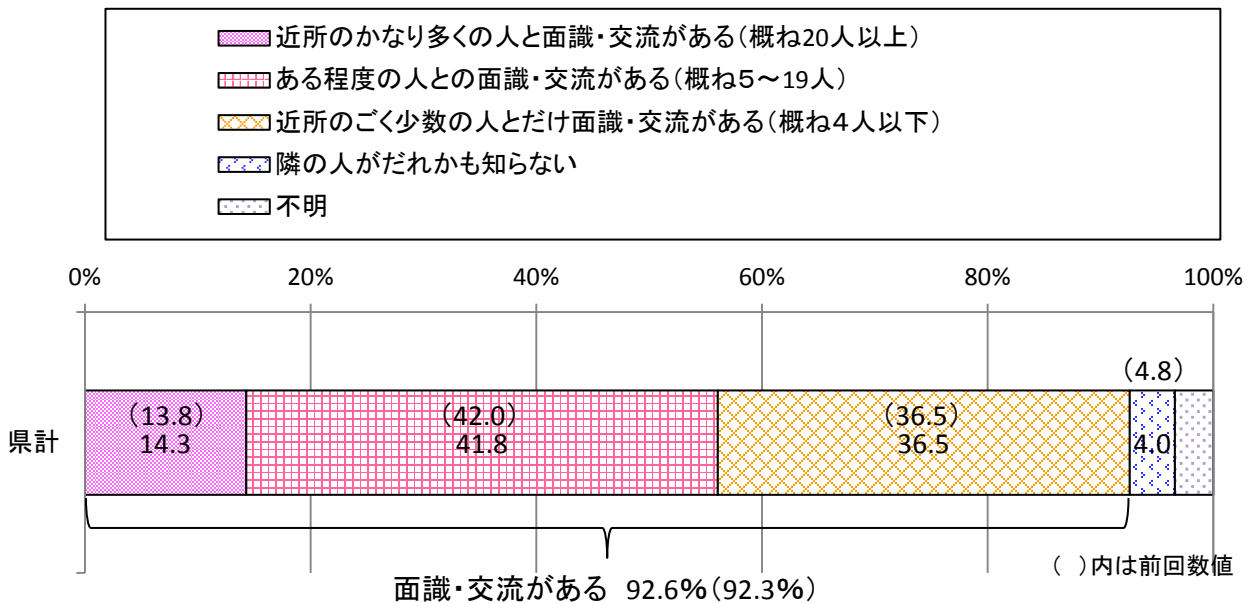
問5-1 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

- ご近所つきあいがある（「生活面での協力」、「立ち話程度のつきあい」、「あいさつ程度のつきあい」）と回答した人の割合は、92.7%となっている。
- 一方、「つきあいは全くしていない」は3.7%となっている。



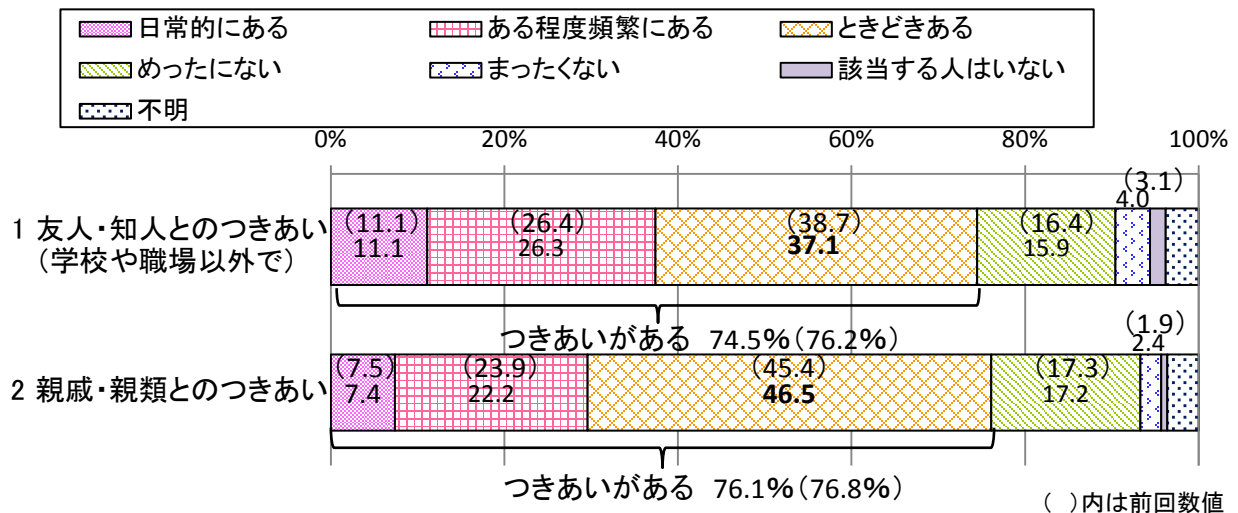
問5-2 つきあっているご近所の方の数は、どのくらいですか。

- 面識・交流がある（「近所のかかなり多くの人」、「ある程度の人」、「近所のごく少数の人とだけ」）と回答した人の割合は、92.6%となっている。
- 一方、「隣の人がだれかも知らない」は4.0%となっている。



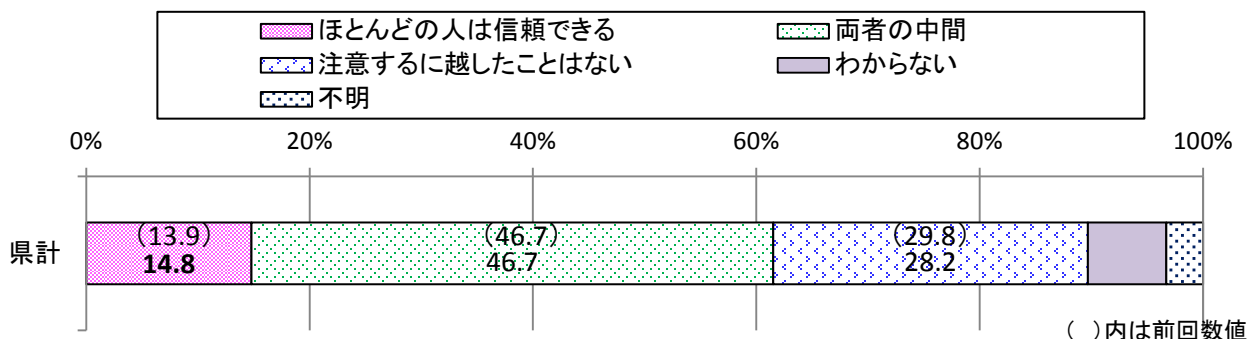
問5-3 あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか。

- 友人・知人等とのつきあいがある(「日常的にある」、「ある程度頻繁にある」、「ときどきある」と回答した人の割合は、「友人・知人」では74.5%、「親戚・親類」では76.1%となっている。
- 最も割合の高いつきあいの程度は、「友人・知人」では「ときどきある」の37.1%、「親戚・親類」では「ときどきある」の46.5%となっている。



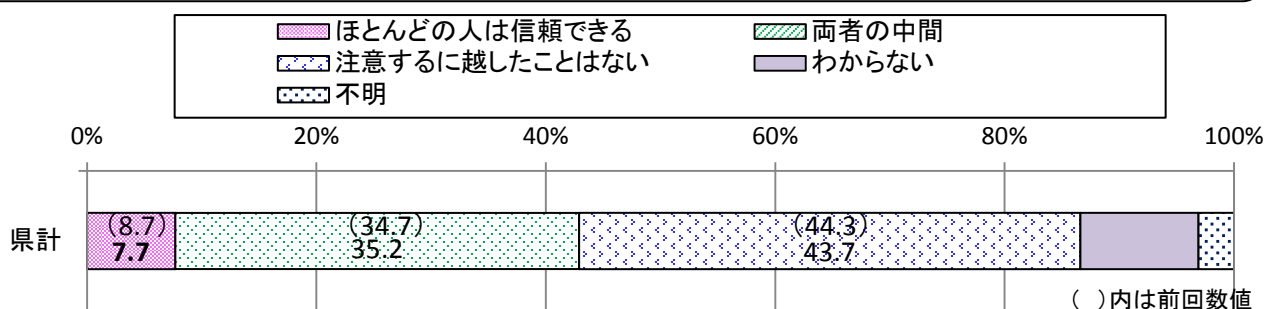
問5-4 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。

- 一般的に、「ほとんどの人は信頼できる」と考える人の割合は、14.8%となっており、「注意するに越したことはない」と考える人の割合28.2%を13.4ポイント下回っている。



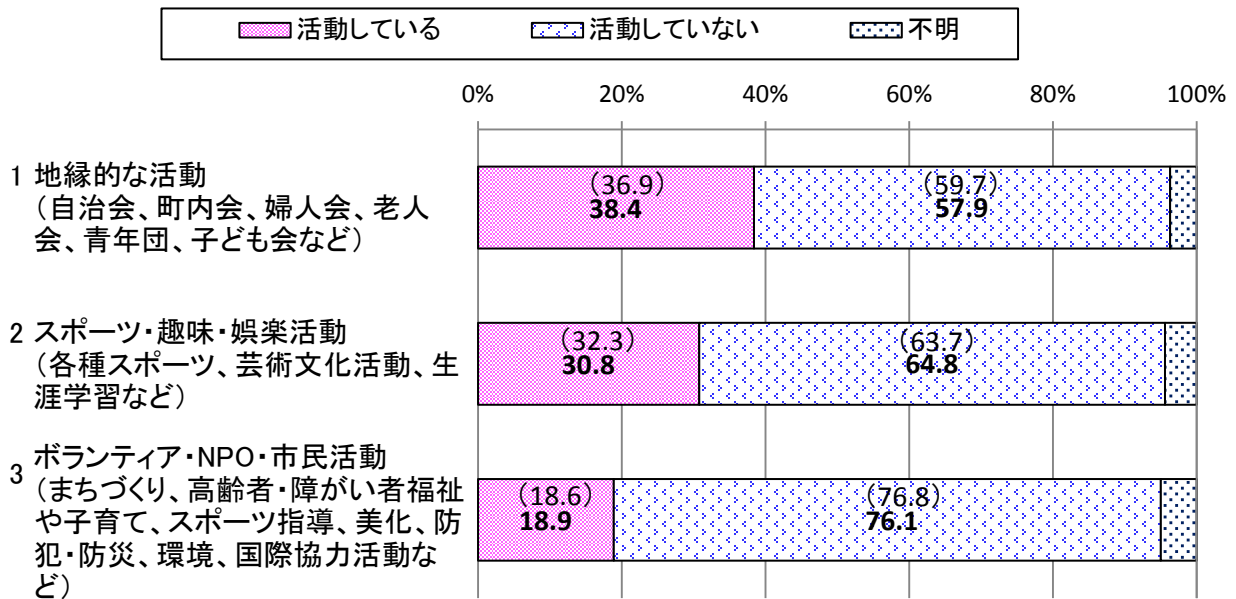
問5-5 「旅先」や「見知らぬ土地」で出会う人に対して、信頼できると思いますか。

- 「旅先」や「見知らぬ土地」で出会う人に対して、「ほとんどの人は信頼できる」と考える人の割合は、7.7%となっており、「注意するに越したことはない」と考える人の割合43.7%を36.0ポイント下回っている。



問5-6 あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・NPO・市民活動をされていますか。

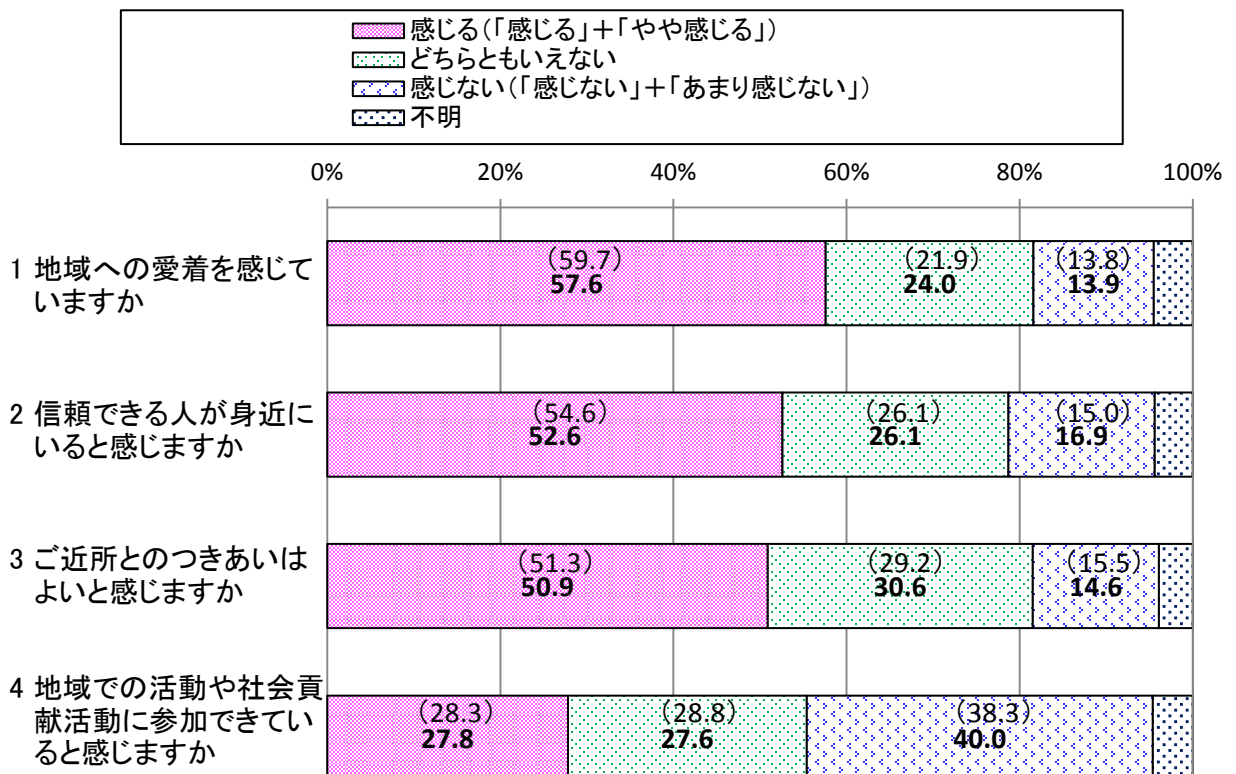
○ 地縁的な活動をしている人は38.4%、スポーツ・趣味・娯楽活動をしている人は30.8%、ボランティア・NPO・市民活動をしている人は18.9%となっている。



()内は前回数値

問5-7 あなたのお住まいの地域(小・中学校区から市町村の範囲)に対する実感をおたずねします。

○ 地域への実感は、割合の高い順に、「地域への愛着を感じていますか」は57.6%、「信頼できる人が身近にいますか」は52.6%、「ご近所とのつきあいはよいと感じますか」は50.9%、「地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか」は27.8%となっている。



()内は前回数値

(参考1)問2の各調査項目一覧(重要度、満足度、ニーズ度得点)

7つの政策	No.	項目	重要度	満足度	ニーズ度
①産業・雇用～「産業創造県いわて」の実現～	1	県内経済の活性化	4.006	2.638	1.368
	2	次世代を担う産業人材育成	4.254	2.448	1.806
	3	地域資源を活用した製品開発・販売	4.107	2.857	1.250
	4	魅力ある観光地づくり	4.009	2.674	1.335
	5	商店街のにぎわい	4.204	2.275	1.929
	6	中小企業の経営力の向上	4.221	2.529	1.692
	7	海外での県産品の販路拡大	3.660	2.759	0.901
	8	安定した就職環境	4.539	2.344	2.195
②農林水産業～「食と緑の創造県いわて」の実現～	9	農林水産業の担い手確保	4.252	2.266	1.986
	10	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.057	2.663	1.394
	11	農林水産物のブランド確立	4.164	2.795	1.369
	12	活力ある農山漁村の形成	3.962	2.591	1.371
	13	環境に配慮した農林水産業の経営	4.249	2.641	1.608
③医療・子育て・福祉～「共に生きるいわて」の実現～	14	適切な医療体制	4.805	2.824	1.981
	15	健康に関する相談・指導	4.441	3.047	1.394
	16	安心な子育て環境整備	4.656	2.611	2.046
	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり	4.691	2.591	2.100
④安全・安心～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～	18	充実した地域防災	4.382	3.170	1.212
	19	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.643	3.285	1.358
	20	交通事故の少ない社会づくり	4.681	3.133	1.547
	21	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.504	2.961	1.542
	22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会	4.537	3.303	1.234
	23	移住や来訪による地域活力向上	4.318	2.754	1.563
	24	市民活動へ参加しやすい社会	3.942	3.115	0.827
	25	地域全体での青少年の健全育成	4.214	3.039	1.175
	26	個性と能力を發揮できる社会の実現	4.166	2.853	1.313
	⑤教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～	27	学校と地域との協力	4.367	3.061
28		子どもの学力向上に向けた教育	4.407	2.986	1.421
29		人間性豊かな子どもの育成	4.620	2.994	1.626
30		子どもの体力向上	4.475	3.172	1.303
31		全ての子どもが学べる環境	4.485	2.965	1.520
32		自分に適した内容や方法で学べる環境	4.254	2.910	1.344
33		大学の地域社会貢献	4.160	2.999	1.161
34		郷土愛の向上に向けた取組	4.007	3.124	0.883
35		地域や学校での文化芸術活動	3.957	3.272	0.685
36		外国人も暮らしやすい地域社会	3.770	2.904	0.866
37		県出身スポーツ選手の活躍	4.091	3.594	0.498
⑥環境～「環境王国いわて」の実現～	38	地域での温暖化防止の取組	4.391	2.902	1.489
	39	ごみ減量やリサイクルの定着	4.483	3.395	1.088
	40	自然環境を大切に生活	4.522	3.213	1.309
⑦社会資本・公共交通・情報基盤～「いわてを支える基盤」の実現～	41	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.423	3.181	1.242
	42	災害に強く安心して暮らせる県土	4.615	2.970	1.645
	43	生活基盤整備が進んだ生活環境	4.489	2.782	1.708
	44	社会資本の維持管理	4.356	2.899	1.458
	45	公共交通機関の維持・確保	4.429	2.653	1.776
	46	通信ネットワークの活用	4.117	3.181	0.936
⑧いわて県民計画(2019～2028)での追加項目	47	仕事と生活を両立できる環境	4.535	2.863	1.672
	48	ペットなど動物のいのちを大切にする社会	4.095	3.101	0.993
	49	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり	3.937	3.158	0.779
	50	感染症に対する備えが整っている社会	4.504	3.056	1.448
平均			4.303	2.910	1.393

注1)重要度(平均)、満足度(平均)は、時系列で平均の差を検定していくため、標本平均を採用しています。

注2)⑧の項目は本ページとP19～20にのみ掲載していて、他ページの表、グラフ等には含めていません。

【用語の説明】

重要度(平均)： 「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均)： 「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度： 重要度(平均)－満足度(平均)
(重要度が高く、住民の満足度が低い状態を(行政)ニーズが高いと読む)